

## 平成 28 年度 事業概要及び報告

### 1 はじめに

当財団は、設立趣旨ならびに寄付行為に基づき、首里城に関する展示資料の収集等を目的とした首里城基金が設置され、基金の造成、管理及び運用の諸事業を実施している他、首里城公園等に関する調査研究、普及啓発等の事業を行っている。詳細については、下記のとおりである。

### 2 財団の事業概要 (※一部抜粋)

#### ◆首里城に関する調査研究事業

- (1) 正殿漆塗装関連資料の調査研究
- (2) 在外首里城関連文化財の調査研究
- (3) 御後絵の調査研究
- (4) 首里城正殿三御飾等道具の調査研究  
(道具類の製作及び往時の製作技法の復元)

#### ◆首里城に関する普及啓発事業

- (1) 琉球王国関連資料の展示
- (2) 首里城講座の実施
- (3) 首里城見学会の実施
- (4) 図録や小冊子等印刷物の発刊
- (5) 出前講座
- (6) 体験学習会の実施
- (7) 地元団体との連携事業の実施
- (8) 職場体験、研修生等の受け入れ

#### ◆その他の事業

- (1) 共同研究事業の実施 (大学等)

### 3 平成 28 年度事業報告

#### 1) 首里城に関する調査研究事業

##### (1) 首里城の歴史、伝統美術品等に関する調査研究

###### ① 御後絵復元制作

首里城公園友の会によって調査・制作された「尚育王御後絵」に続き、当財団にて「尚灝王御後絵」の模造復元製作を行う。平成 28 年度は表具部分の装丁を行い「尚灝王御後絵」を完成させた。また本紙部分の高精細デジタル複製製作を行った。

###### ② 在外首里城関連文化財の調査研究

過年度に作成したデータベースの整理を行い、基礎調査報告書を作成した。また、過年度に印刷した報告書を海外の博物館・美術館へ発送し、本研究の普及啓発を行った。

###### ③ 首里城正殿三御飾復元制作業務

かつて首里城正殿において正月儀式で使われていた「三御飾道具及び御床飾道具」の復元製作を実施した。漆芸器類では平卓（猫足）の螺鈿加飾を実施した。

##### (2) 首里城正殿漆塗装材等に関する調査研究

正殿等復元建造物の維持管理技術に関する調査研究では、漆等塗装材として使用する為、安定的な塗料開発を行う為、胡粉や黄土の耐候性試験及び琉球産弁柄についての焼成試験等を実施した。

## 2) 首里城に関する普及啓発事業

- (1) 南殿二階特別展示室において、沖縄の様々な工芸を一同に紹介した「総合展示」を資料の入れ替えを行いながら年間を通して実施した。その期間中には「琉球王国の花模様～工芸を彩った花々～」と題し季節に合わせた企画展を開催した。  
黄金御殿特別展示室においては、「守れ！琉球の宝」「陶工来琉 400 年記念 琉球王国のやきもの」「バジル・ホール来琉 200 年記念 うらんだあ・L00-CH00 (琉球) 来訪記-異国人がみた琉球-」「琉球楽器の響き～宮廷を奏でた楽器たち～」首里城出土品展 モノから見る交流と祈り」と題した企画展を実施した。
- (2) 首里城を中心とする琉球の歴史文化について県民に広く普及啓発し、首里城公園の利用促進するため首里城講座を実施した。
- (3) 来園者の入館促進及び満足度向上を目的とし首里城見学会を実施した。公園内施設の詳細な解説を行ったほか、年間 4～5 回程度行われる企画展の展示の解説会や日影台（日時計）の時間測定体験など様々な見学会と併せて、国営沖縄記念公園事務所首里出張所の協力のもと、未開園区域の整備方針や発掘調査中の現場の解説を行う見学会も実施した。
- (4) 那覇市の協力を得て、琉球国王であった尚家に伝わる古文書類（家譜）の複製本の製作を行った。
- (5) 清代琉球史料選編刊行助成は、台湾国立故宫博物院に所蔵されている中国清代の琉球関係行政文書の史料集刊行の為、助成を行った。
- (6) 沖縄の歴史文化に関する知識の普及啓発を推進するため、県内の小・中学生の歴史文化学習に対し助成を行った。
- (7) 首里城公園の普及啓発を目的として那覇市内の小学校・中学校・高校を対象に出前講座を実施し、パンフレットやワークシートを活用し琉球の歴史文化や首里城公園内の各施設について解説を行った。
- (8) 首里城公園の支援団体である「首里城公園友の会」が主催する文化講演会、親子体験会、イヌマキ育樹等の事業実施に対して助成を行った。